

【 手術前に服用中止を考慮すべき院内採用・院外登録薬品一覧 】

一覧に記載された医薬品の中止はあくまで目安であり、合併疾患の病態や治療手技により対応は異なります。

なお、医薬品の中止期間について、『7～14日間』のように記載されている場合、中止期間は長い日数を基本とし、状況に応じて短い日数を選択してください。

薬剤名		先発品名	中止期間（日）	拮抗薬		参考文献	備考
薬効	一般名						
抗血小板薬	クロピドグレル硫酸塩	プラビックス®	7～14	×		関連ガイドライン※ ¹	
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント®	14	×		添付文書	
	シロスタゾール	プレタール®	3	×		関連ガイドライン※ ¹	
	チカグレロル	ブリリンタ®	5	×		添付文書	
	チクロピジン塩酸塩	パナルジン®	7～14	×		関連ガイドライン※ ¹	
	アスピリン	バイアスピリン®	7	×		関連ガイドライン※ ¹	
		バファリン®					
	アスピリン ・ランソプラゾール	タケルダ®	7	×		アスピリンの項に準じる	
	アスピリン ・ボノبرانザンフマル酸塩	キャブピリン®	7	×		アスピリンの項に準じる	
	クロピドグレル硫酸塩 ・アスピリン配合錠	コンプラビン®	7～14	×		クロピドグレル硫酸塩 ・アスピリンの各項に準じる	
	リマプロストアルファデクス	オバルモン®	1	×		添付文書、インタビューフォーム	抗血小板作用は血中濃度に依存するため、 血中半減期を考慮し中止期間を設定
	サルボグレラート塩酸塩	アンプラーグ®	1～2	×		添付文書、インタビューフォーム	抗血小板作用は血中濃度に依存するため、 血中半減期を考慮し中止期間を設定
	ベラプロストナトリウム	プロサイリン®	1	×		添付文書、インタビューフォーム	抗血小板作用は血中濃度に依存するため、 血中半減期を考慮し中止期間を設定
抗凝固薬	ワルファリンカリウム	ワーファリン®	3～5	○	ケイセントラ® ケイツー®	関連ガイドライン※ ¹	
	ダビガトラン	プラザキサ®	備考 参照	○	ブリズバインド®	添付文書、メーカー回答	通常：1日 完全止血を要する大手術、出血リスクが高い患者、 クレアチンクリアランス50未満の患者：48時間以上
	リバーロキサバン	イグザレルト®	1	○	オンデキサ®	添付文書	
	アピキサバン	エリキューズ®	備考 参照	○		添付文書	出血リスク低：1日 出血リスク中～高：2日以上
	エドキサバン	リクシアナ®	1	○		添付文書	

【 手術前に服用中止を考慮すべき院内採用・院外登録薬品一覧 】

一覧に記載された医薬品の中止はあくまで目安であり、合併疾患の病態や治療手技により対応は異なります。

なお、医薬品の中止期間について、『7～14日間』のように記載されている場合、中止期間は長い日数を基本とし、状況に応じて短い日数を選択してください。

薬剤名		先発品名	中止期間（日）	拮抗薬		参考文献	備考
薬効	一般名						
低量経口避妊薬 低用量ピル	ノルゲストレル ・エチニルストラジオール	プラノバル®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
	結合型エストロゲン	プレマリン®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
	エストラジオール	ジュリナ®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
		ディピゲル®					
		エストラーナ®					
		ル・エストロジェル®					
	エストリオール	エストリール®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
	エストラジオール ・酢酸ノルエチステロン	メノエイド®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
	エストラジオール吉草酸エステル	ペラニンデポー®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
	エストラジオール ・ノボレルゲストレル	ウェールナラ®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
	ドロスピレノン ・エチニルエストラジオール	ヤーズ®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
	ノルエチステロン ・エチニルエストラジオール	ルナベル®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
		シンフェーズ®					
		フリウェル®					
	レボノルゲストレル ・エチニルエストラジオール	アンジュ®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
		トリキュラー®					
		ジェミーナ®					
		ラベルフィーユ®					
	デソゲストレル ・エチニルエストラジオール	ファボワール®	28	×		関連ガイドライン※3	血液凝固の亢進により血管系副作用リスクの増大
		マーベロン®					

【 手術前に服用中止を考慮すべき院内採用・院外登録薬品一覧 】

一覧に記載された医薬品の中止はあくまで目安であり、合併疾患の病態や治療手技により対応は異なります。

なお、医薬品の中止期間について、『7～14日間』のように記載されている場合、中止期間は長い日数を基本とし、状況に応じて短い日数を選択してください。

薬剤名		先発品名	中止期間（日）	拮抗薬		参考文献	備考
薬効	一般名						
EPA製剤等	イコサペント酸エチル	エパデール®	7	×		関連ガイドライン※2	
	オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ®	7	×		イコサペント酸エチルの項に準じる	
脳循環改善薬	イブジラスト	ケタス®	3	×		添付文書、インタビューフォーム	抗凝血小板作用は血中濃度に依存するため、血中半減期を考慮し中止期間を設定
	イフェンプロジル酒石酸塩	セロクラール®	1	×		添付文書、インタビューフォーム	抗凝血小板作用は血中濃度に依存するため、血中半減期を考慮し中止期間を設定
冠血管拡張薬	トラピジル	ロコルナール®	2～3	×		添付文書、インタビューフォーム	抗凝血小板作用は血中濃度に依存するため、血中半減期を考慮し中止期間を設定
	ジピリダモール	ペルサンチン®	1～2	×		添付文書、インタビューフォーム	抗凝血小板作用は血中濃度に依存するため、血中半減期を考慮し中止期間を設定
	ジラゼブ塩酸塩	コメリアン®	1～2	×		添付文書、インタビューフォーム	抗凝血小板作用は血中濃度に依存するため、血中半減期を考慮し中止期間を設定
SERM	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ®	3	×		添付文書	長期臥床にて血栓形成リスクの増大
	バゼドキシフェン酢酸塩	ビビアント®	3	×		ラロキシフェン塩酸塩の項に準じる	長期臥床にて血栓形成リスクの増大

※1 循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン（2009年改訂版 2015/10/7更新版）

※2 手術医療の実践ガイドライン（2013年発行）

※3 OC・LEPガイドライン（2020年度版）

2014/07/23 改訂

2019/06/20 改訂

2021/10/01 改訂

2022/01/01 改訂

2022/10/01 改訂